

タイトル

ハンバーガー等の食品包装袋

技術分野

- 電機・電子
- 情報・通信
- 有機材料
- 金属材料
- 食品・バイオ
- 土木・建築
- 農林・畜水産
- その他()
- 機械・加工
- 化学・薬品
- 無機材料
- 輸送
- 生活・文化
- 繊維・紙
- 医療・介護

利用分野・適用製品

- ・揚物(フライドポテト、チキン、コロッケ)
- ・菓子類(シュークリーム、クレープ等)
- ・パン類(サンドイッチ等の調理パン、ぶたまん、ホットドッグ、メロンパン、ジャムパン、ドーナツ等)

情報メモ

詳細資料: 有 無
 サンプル: 有 無
 見学: 可 不可
 その他: 商品あり

従来技術の課題・問題点

包装袋の前後両面に扁平状の舌片が形成されるだけで、左右両側面部分にはハンバーガーを覆う側壁がない。そのため、ハンバーガーを手で持って食べる際、袋の両横側から内容物がはみ出したり、外部にこぼれたりするとともに、口元から垂れ落ちたりして手や衣服等を汚す等の問題があった。

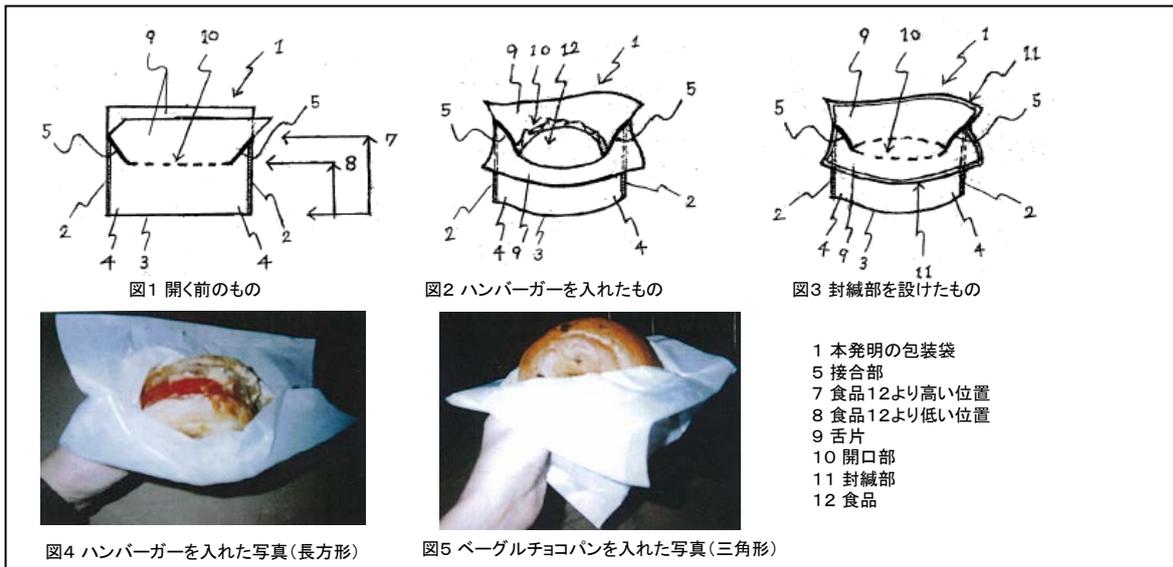
本発明の効果・特長

包装袋の上端縁周辺部に開閉して折り返し可能な幅広い舌片を有しているので、包装袋の中に入れたハンバーガー等やお握り等の食品の全体を完全に覆うことが出来、手や衣服等を汚すことなく持ち易い。また、舌片の折り返し幅が調整可能なので、包装袋からの食品を露出させる際、露出量を調整し易く、周囲に内容物を零すことなく一口で食べる量を容易に調整できる。

技術概要(構造・動作等)

図1において、包装袋1内に収納する食品12の高さよりも高い位置7と、食品12の高さよりも低い位置8との両位置を繋ぐ様に接合部5を設けた。包装袋1の上端部に設けた二枚の舌片9をそれぞれ両手で掴んで外側に引っ張ると、図2に示すように上端部が開いて、略円形な開口部10を形成する。舌片9を外方下側に折り返すと、内部に收容したハンバーガー等の食品12の一部分が露出する。食品12は袋の中央位置に固定されズレ等を防止できる。図3は、包装袋1の上端開口部10又はその近傍に封緘手段11を設けたものである。図4はハンバーガーを入れた包装袋(長方形)を手で保持している写真であり、図5はベーグルチョコパンを入れた包装袋(三角形)を手で保持している写真である。

図・特記事項・その他



主たる提供特許

登録番号:特許 5841283
 出願日:平成 27 年 6 月 26 日(2015 年)
 発明の名称:ハンバーガー等の食品包装袋
 権利者:赤星 淑子

関連特許番号